

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-005-15 改1
提出年月日	2020年7月10日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料
原子炉冷却系統施設のうち
原子炉補機冷却設備
(代替原子炉補機冷却系)

2020年7月

東京電力ホールディングス株式会社

8.2 代替原子炉補機冷却系

(2) 熱交換器

- ・常設

原子炉補機冷却水系熱交換器

- ・可搬型

a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器 (6, 7 号機共用)

(3) ポンプ

- ・可搬型

a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却水ポンプ (6, 7 号機共用)

b. 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) (6, 7 号機共用)

(5) 容器

- ・常設

原子炉補機冷却水系サージタンク

(6) ろ過装置

- ・可搬型

a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ (6, 7 号機共用)

(9) 主配管

- ・常設

- ・可搬型

8.2 代替原子炉補機冷却系

- (2) 熱交換器の名称，種類，容量，最高使用圧力（管側及び胴側の別に記載すること。），最高使用温度（管側及び胴側の別に記載すること。），伝熱面積，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

- ・常設

以下の設備は，既存の原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）であり，原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）として本工事計画で兼用とする。

原子炉補機冷却水系熱交換器*

注記*：原子炉補機冷却水系熱交換器(A)，(D)が対象。

・可搬型

a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器 (6,7号機共用)

		変更前	変更後				
名称		—	熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器 (6,7号機共用)				
			P27-D2000	P27-D3000	P27-D4000	P27-D1000	P27-D5000
種類	—		プレート式				
容量(設計熱交換量)*1			□以上(□*2)				
淡水側	最高使用圧力*1		1.37				
	最高使用温度*1		90				
海水側	最高使用圧力*1		1.4				
	最高使用温度*1		80				
伝熱面積*1			□以上(□*2)		□以上(□*2)		
主要寸法	たて		2752*2		□*2		
	横		780*2		□*2		
	高さ		2050*2		□*2		
	コンテナ全長		12200*2		□*2		
	コンテナ全幅		2490*2		□*2		
	コンテナ高さ		2900*2		□*2		
材料	熱交換器側板		□		□		
	熱交換器伝熱板		□		□		
個数	—	2*3	2*3	2*3	2*3	2*3	
車両個数	—	4 (予備1) *4					

		変 更 前	変 更 後
取 付 箇 所	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L. 約 35000mm 上記 2 箇所にそれぞれ 2 個ずつ保管するとともに、予備 1 個を上記 2 箇所にうちいずれかに保管する。 取付箇所： 【6号機】2台 6号機タービン建屋付近 T.M.S.L. 約 12000mm 【7号機】2台 7号機タービン建屋付近 T.M.S.L. 約 12000mm

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 車両 1 台につき 2 個設置する。

*4 : P27-D1000, D2000, D3000, D4000, D5000 の用途は同じであるため、合計数 5 のうち、熱交換器及び車両の仕様は問わず保有数は 4 (予備 1) とする。

(3) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・可搬型

a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却水ポンプ (6, 7号機共用)

			変更前	変更後					
名称			—	熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却水ポンプ (6, 7号機共用)					
				P27-D2000	P27-D3000	P27-D4000	P27-D1000	P27-D5000	
ポンプ	種類	—	—	うず巻形					
	容量 ^{*1}	m ³ /h/個		325 以上 ^{*2} 350 以上 ^{*3} 340 以上 ^{*4} (300 ^{*5})			□ 以上 ^{*2} □ 以上 ^{*3} □ 以上 ^{*4} (□ ^{*5})		
	揚程 ^{*1}	m		65 以上 ^{*2} 53 以上 ^{*3} 56 以上 ^{*4} (75 ^{*5})			□ 以上 ^{*2} □ 以上 ^{*3} □ 以上 ^{*4} (□ ^{*5})		
	最高使用圧力 ^{*1}	MPa		1.37			1.37		
	最高使用温度 ^{*1}	℃		70			70		
	主要寸法	吸込内径		mm	200 ^{*5}			□ ^{*5}	
		吐出内径		mm	150 ^{*5}			□ ^{*5}	
		たて		mm	750 ^{*5}			□ ^{*5}	
		横		mm	180 ^{*5}			□ ^{*5}	
		高さ		mm	490 ^{*5}			□ ^{*5}	
材料	ケーシング	—	SCS14			□			
個数	—	2 ^{*6}	2 ^{*6}	2 ^{*6}	1 ^{*7}	1 ^{*7}			

			変更前	変更後				
ポンプ	取付箇所	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L.約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約 35000mm 上記 2 箇所にそれぞれ 2 個ずつ保管するとともに、予備 1 個を上記 2 箇所のうちいずれかに保管する。 取付箇所： 【6号機】2台 6号機タービン建屋付近 T.M.S.L.約 12000mm 【7号機】2台 7号機タービン建屋付近 T.M.S.L.約 12000mm				
	原動機の種類	—		誘導電動機		誘導電動機		
原動機	出力	kW/個	110		210			
	個数	—	2* ⁶	2* ⁶	2* ⁶	1* ⁷	1* ⁷	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	ポンプと同じ	ポンプと同じ	ポンプと同じ	ポンプと同じ	

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

- *2 : 「代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (西)」で使用する場合の値を示す。
- *3 : 「代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (南)」で使用する場合の値を示す。
- *4 : 「代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (西)」で使用する場合の値を示す。
- *5 : 公称値を示す。
- *6 : P27-D2000, P27-D3000, P27-D4000 は、車両 1 台につき 2 個設置する。
- *7 : P27-D1000, P27-D5000 は、車両 1 台につき 1 個設置する。

b. 大容量送水車（熱交換器ユニット用）（6,7号機共用）

			変更前	変更後	
名称				大容量送水車（熱交換器ユニット用） （6,7号機共用）	
ポンプ	種類	—		うず巻形	
	容量*1	m ³ /h/個		<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以上 *2 <input type="text"/> 以上 *3 (900*4)	
	吐出圧力*1	MPa		<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 以上 *2 <input type="text"/> 以上 *3 (1.25*4)	
	最高使用圧力 *1	MPa		<input type="text"/>	
	最高使用温度 *1	℃		<input type="text"/>	
	主要寸法	吸込口径	mm		<input type="text"/> *4
			mm		<input type="text"/> *4
		たて	mm		<input type="text"/> *4
			mm		<input type="text"/> *4
		高さ	mm		<input type="text"/> *4
		車両全長	mm		10920*4
		車両全幅	mm		2490 *4
	mm			3980 *5	
	車両高さ	mm		3580*4	
	材料	ケーシング	—		<input type="text"/>
個数	—			4（予備1*6）	

K7 ① II R0

			変 更 前	変 更 後
ポンプ	取 付 箇 所	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L. 約 35000mm 予備を含めた 5 台を上記 2 箇所のうち荒浜側高台保管場所に 2 台、大湊側高台保管場所に 3 台を保管する。 取付箇所： (【6号機】 2 台 【7号機】 2 台 取水路付近 T.M.S.L. 約 12000mm)
	種 類	—		ディーゼルエンジン
原 動 機	出 力	kW/個		□
	個 数	—		4 (予備 1*6)
	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

- *2 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（原子炉建屋放水設備）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）として使用する場合は値を示す。
- *3 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）として使用する場合は値を示す。
- *4 : 公称値を示す。
- *5 : アウトリガ最大張出時の車両全幅を記載。
- *6 : 大容量送水車（熱交換器ユニット用）(6,7号機共用)の予備1台を原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）である大容量送水車（原子炉建屋放水設備）(6,7号機共用)の予備及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）である大容量送水車（海水取水用）(6,7号機共用)の予備として兼用する。

(5) 容器の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

以下の設備は，既存の原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）であり，原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）として本工事計画で兼用とする。

原子炉補機冷却水系サージタンク*

注記*：原子炉補機冷却水系サージタンク(A)，(B)が対象。

(6) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

a. 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ（6,7号機共用）

		変更前	変更後				
名 称			熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ (6,7号機共用)				
			P27-D2000	P27-D3000	P27-D4000	P27-D1000	P27-D5000
種 類	—		T型ストレーナ			サイクロン形	
容 量*1	m ³ /h/個		840 以上 (840*2)			□ 以上 (□*2)	
最 高 使 用 圧 力*1	MPa		1.4			1.4	
最 高 使 用 温 度*1	℃		50			40	
主 要 寸 法	全 長	mm	1000*2			—	
	直 径	mm	—			□*2	
	高 さ	mm	400*2			□*2	
材 料	銅 板	—	STPG370			□	
個 数	—		2*3	2*3	2*3	1*4	1*4
取 付 箇 所	—		保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L.約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約 35000mm 上記2箇所にそれぞれ2個ずつ保管するとともに、予備1個を上記2箇所のうちいずれかに保管する。 取付箇所： (【6号機】2台 6号機タービン建屋付近 T.M.S.L.約 12000mm 【7号機】2台 7号機タービン建屋付近 T.M.S.L.約 12000mm)				

注記*1：重大事故等時における使用時の値。

*2：公称値を示す。

*3：P27-D2000, D3000, D4000は、車両1台につき2個設置する。

*4：P27-D1000, D5000は、車両1台につき1個設置する。

(9)主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は, 個数及び取付箇所を付記すること。)

・常設

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
代替 原子 炉 補 機 冷 却 系	—	—	—	—	—	代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (西) 供給 側 ～ 代替原子炉補機冷却系配管(A)合流部	1.37 ^{*1}	70 ^{*1}	267.4 ^{*2}	9.3 ^{*2}	SUS304TP
									267.4 ^{*2,*3}	9.3 ^{*2,*3}	SUS304TP ^{*3}
									267.4 ^{*2} /216.3	9.3 ^{*2} /8.2	STPT410
									216.3 ^{*2}	8.2 ^{*2}	STPT410
									216.3 ^{*2,*3}	8.2 ^{*2,*3}	STPT410 ^{*3}
						代替原子炉補機冷却系配管(A)分岐部 ～ 代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (西) 戻り 側	1.37 ^{*1}	90 ^{*1}	216.3 ^{*2}	8.2 ^{*2}	STPT410
									216.3 ^{*2,*3}	8.2 ^{*2,*3}	STPT410 ^{*3}
									267.4 ^{*2} /216.3	9.3 ^{*2} /8.2	STPT410
									267.4 ^{*2,*3}	9.3 ^{*2,*3}	SUS304TP ^{*3}
									267.4 ^{*2}	9.3 ^{*2}	SUS304TP
						代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (南) 供給 側 ～ 代替原子炉補機冷却系配管(B-1)合流部	1.37 ^{*1}	70 ^{*1}	267.4 ^{*2}	9.3 ^{*2}	SUS304TP
									267.4 ^{*2,*3}	9.3 ^{*2,*3}	SUS304TP ^{*3}
									267.4 ^{*2}	9.3 ^{*2}	STPT410
									267.4 ^{*2,*3}	9.3 ^{*2,*3}	STPT410 ^{*3}

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
代替 原子 炉補 機冷 却系						代替原子炉補機冷却系配管(B-1)分岐部 ～ 代替原子炉補機冷却系接続口B系(南)戻り 側	1.37*1	90*1	267.4*2	9.3*2	STPT410
									267.4*2,*3	9.3*2,*3	STPT410*3
									267.4*2,*3	9.3*2,*3	SUS304TP*3
									267.4*2	9.3*2	SUS304TP
						代替原子炉補機冷却系接続口B系(西)供給 側 ～ 代替原子炉補機冷却系配管(B-2)合流部	1.37*1	70*1	267.4*2	9.3*2	SUS304TP
									267.4*2,*3	9.3*2,*3	SUS304TP*3
									267.4*2	□(9.3*2)	SFVC2B
									267.4*2	9.3*2	STPT410
									267.4*2,*3	9.3*2,*3	STPT410*3
						代替原子炉補機冷却系配管(B-2)分岐部 ～ 代替原子炉補機冷却系接続口B系(西)戻り 側	1.37*1	90*1	267.4*2	9.3*2	STPT410
									267.4*2,*3	9.3*2,*3	STPT410*3
									267.4*2	□(9.3*2)	SFVC2B
									267.4*2,*3	9.3*2,*3	SUS304TP*3
									267.4*2	9.3*2	SUS304TP

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

*2 : 公称値を示す。

*3 : エルボを示す。

以下の設備は、既存の原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）であり、原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）として本工事計画で兼用とする。

原子炉補機冷却水系	代替原子炉補機冷却系配管(A)合流部～原子炉補機冷却水ポンプ(A), (D)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水ポンプ(A), (D)出口配管合流部～原子炉補機冷却水系熱交換器(A), (D)
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系熱交換器(A), (D)～残留熱除去系熱交換器(A)入口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(A)入口配管分岐部～残留熱除去系熱交換器(A)
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(A)～残留熱除去系熱交換器(A)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(A)出口配管合流部～原子炉補機冷却水ポンプ(A), (D)入口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水ポンプ(A), (D)入口配管分岐部～代替原子炉補機冷却系配管(A)分岐部
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(A)入口配管分岐部～原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)入口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)出口配管合流部～残留熱除去系熱交換器(A)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)入口配管分岐部～燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)入口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)入口配管分岐部～燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)
原子炉補機冷却水系	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)～燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口配管合流部～原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系サージタンク(A)出口配管合流部～燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系サージタンク(A)～原子炉補機冷却水系サージタンク(A)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系熱交換器(B), (E)出口配管分岐部～残留熱除去系熱交換器(B)入口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(B)入口配管分岐部～残留熱除去系熱交換器(B)
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(B)～残留熱除去系熱交換器(B)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	残留熱除去系熱交換器(B)出口配管合流部～原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	代替原子炉補機冷却系配管(B-1)分岐部～原子炉補機冷却水ポンプ(B), (E)分岐部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系熱交換器(B), (E)出口配管分岐部～燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)入口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)入口配管分岐部～燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)
原子炉補機冷却水系	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)～原子炉補機冷却水系サージタンク(B)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系サージタンク(B)出口配管合流部～燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口配管合流部～残留熱除去系熱交換器(B)出口配管合流部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系サージタンク(B)～原子炉補機冷却水系サージタンク(B)出口配管合流部

以下の設備は、原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系）であり、原子炉補機冷却設備（代替原子炉補機冷却系）として本工事計画で兼用とする。

原子炉補機冷却水系	代替原子炉補機冷却系配管(B-2)合流部～代替原子炉補機冷却系配管(B-1)合流部
原子炉補機冷却水系	代替原子炉補機冷却系配管(B-1)合流部～原子炉補機冷却水系熱交換器(B), (E)出口配管分岐部
原子炉補機冷却水系	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)出口配管合流部～代替原子炉補機冷却系配管(B-1)分岐部
原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水ポンプ(B), (E)分岐部～代替原子炉補機冷却系配管(B-2)分岐部

・可搬型

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (—)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (—)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替原子炉補機冷却系			—					熱交換器ユニット淡水用 5m フレキシブルホース (6,7号機共用)	1.37*1	99*1	250A*2	—*3	SUS316L	28*4 (予備 2)	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L. 約 35000mm 上記 2 箇所にそれぞれ 14 本ずつ保管するとともに、予備 2 本を上記 2 箇所のうちいずれかに保管する。 取付箇所： 【6号機】6本*5 屋外 T.M.S.L. 約 12000mm 熱交換器ユニット～代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (北) 供給側及び代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (南) 供給側又は代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (北) 供給側 代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (北) 戻り側及び代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (南) 戻り側又は代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (北) 戻り側～熱交換器ユニット 【7号機】8本*6 屋外 T.M.S.L. 約 12000mm 熱交換器ユニット～代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (西) 供給側及び代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (南) 供給側又は代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (西) 供給側 代替原子炉補機冷却系接続口 A 系 (西) 戻り側及び代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (南) 戻り側又は代替原子炉補機冷却系接続口 B 系 (西) 戻り側～熱交換器ユニット

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替原子炉補機冷却系	—	—	—	—	—	—	代替原子炉補機冷却系	大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 吸込 20m ホース (6, 7 号機共用)	1.3*1	60*1	150A*2	—*3	ポリエステル	16 (予備 4*8) ^{*7}	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 上記 2 箇所にそれぞれ 8 本ずつ保管するとともに、予備 4 本を上記 2 箇所のうちいずれかに保管する。 取付箇所： 【6 号機】4 本 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 海～大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 【7 号機】4 本 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 海～大容量送水車 (熱交換器ユニット用)
								熱交換器ユニット海水用 10m, 25m, 50m ホース (6, 7 号機共用)	1.3*1	74*1	300A*2	—*3	ポリエステル	32 (予備 6) ^{*9}	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 上記 2 箇所にそれぞれ 16 本ずつ保管するとともに、予備 6 本を上記 2 箇所のうちいずれかに保管する。 取付箇所： 【6 号機】8 本*10 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) ～熱交換器ユニット～海 【7 号機】8 本*11 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) ～熱交換器ユニット～海

- 注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。
*2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
*3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
*4 : 必要本数 14 本を 2 セットに予備 2 本の数量を示す。
*5 : 最長ルートである「熱交換器ユニット～代替原子炉補機冷却系接続口 B 系（南）供給側及び代替原子炉補機冷却系接続口 B 系（南）戻り側～熱交換器ユニット」に敷設した場合の本数。
*6 : 最長ルートである「熱交換器ユニット～代替原子炉補機冷却系接続口 A 系（西）供給側及び代替原子炉補機冷却系接続口 A 系（西）戻り側～熱交換器ユニット」又は「熱交換器ユニット～代替原子炉補機冷却系接続口 B 系（西）供給側及び代替原子炉補機冷却系接続口 B 系（西）戻り側～熱交換器ユニット」に敷設した場合の本数。
*7 : 必要本数 8 本を 2 セットに予備 4 本の数量を示す。
*8 : 大容量送水車（熱交換器ユニット用）吸込 20m ホース（6, 7 号機共用）の予備 4 本を原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（原子炉建屋放水設備）である大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）吸込 20m ホース（6, 7 号機共用）の予備及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）である大容量送水車（海水取水用）吸込 20m ホース（6, 7 号機共用）の予備として兼用する。
*9 : 必要本数 16 本（50m : 11 本, 25m : 3 本, 10m : 2 本）を 2 セット及び予備各 2 本の本数を示す。
*10 : 各ルート敷設時の各ホースの最大本数（50m : 6 本, 25m : 1 本, 10m : 1 本）の合計を示す。
*11 : 各ルート敷設時の各ホースの最大本数（50m : 5 本, 25m : 2 本, 10m : 1 本）の合計を示す。